

NST 対象者抽出基準から**低アルブミン項目を削除**します

近年, 血中アルブミン値を栄養指標に用いるという考え方は
全面的に否定され, R6 診療報酬改定にも反映されました。

ASPEN : 米国静脈経腸栄養学会 ポジションペーパーの見解



- ・ 低栄養の構成要素ではない
- ・ 体たんぱく質や筋肉量の代理指標ではない
- ・ **栄養指標として使用すべきではない**
- ・ 炎症マーカーである

Evans DC, et al. Nutr Clin Pract. 2021;36(1):22-28.

令和6年度診療報酬改定の疑義解釈 問23 栄養評価法に関する回答

「血中アルブミン値のみで栄養状態を評価することは
標準的な手法に含まれない」

(その他)

- ・ **NST介入基準からアルブミン値の項目が削除**

日本版重症患者の栄養療法 ガイドライン (J-CCNTG) 2016

CQ2 栄養評価に適した指標はあるか？

(解説) アルブミン・プレアルブミン・トランスフェリン・レチノール
結合蛋白などの生化学検査値は, CRP合成増加や血管
透過性亢進のため, 正確な栄養状態を反映できない

Lancet に掲載されたReview論文

Dent E, et al. Malnutrition in older adults.
Lancet. 2023;401(10380):951-966.

- ・ 血清アルブミンは, 栄養指標として推奨しない

☒ NST へのコンサルトは, MUST による栄養スクリーニング結果や
臨床所見に基づき, 随時ご検討ください